

**近鉄奈良駅・新大宮駅・JR奈良駅周辺エリア部会（第3回）**

**資 料**

# 【報告(1)】令和6年度観光庁補助を活用した取組について

## 事業概要

奈良公園周辺への観光客等の集中について、観光庁の「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」にかかる補助を活用し、混雑緩和や周遊促進、マナー啓発に関する実証実験を実施したもの

### 実施概要

### 取組の様子

#### 1. マナー啓発対策

➤ 奈良公園バスターミナルに外国語対応可能なガイドを配置し、バスで来訪のインバウンド団体客を中心に、東大寺方面への推奨ルートの案内やマナーを啓発

◎80%を超える方が誘導に従い、推奨ルートを通行した一方、滞在時間の制約から案内に従っていただけない状況も散見



#### 2. 世界遺産古都奈良の文化財エリアへの周遊促進による奈良公園エリアの混雑緩和・平準化対策

➤ 外国人インフルエンサー等による西の京、ならまちといった奈良公園周辺のモニターツアーの実施や周辺エリアの魅力発信のための動画・ポスター作成

◎インフルエンサー等の投稿に対し約15万インプレッションのほか、ショート動画・ポスターを活用



#### 3. 奈良公園エリア内での混雑緩和・平準化対策

➤ 奈良公園エリアへの人流センサーの設置及びスマートフォンの位置情報データの取得による人の量・流れの計測及び混雑状況発信による混雑スポットの回避の推奨

◎局所的な混雑がみられる他、2時間程度しか奈良公園に滞在しない観光客は混雑状況に関わらず、目的地に直行



実施概要

取組の様子

4. IoTを活用したスマートごみ箱設置によるポイ捨て対策

【実施期間】令和7年1月10日～2月14日 ※継続中

- ▶ スマートごみ箱を奈良公園バスターミナル南側入口付近(屋内・屋外)に2セット合計6基設置  
※外装は鹿サポーターズクラブがデザインし、奈良のシカの保護を呼びかける内容
- ▶ ごみ箱設置前後について、奈良公園周辺の約20箇所のポイ捨て状況を調査

◎圧縮型ごみ箱で回収する一般ゴミに缶・ペットボトルが混入する事例は少なかったが、非圧縮型ごみ箱(缶・ペットボトル回収用)にテイクアウト用のプラカップなどの混入が多数見られ、飲みかけの飲料の投棄も多数確認

◎ポイ捨てが約10%減少したほか、調査により、トイレ内外にポイ捨てが集中する状況を確認

◎今後、トイレ周辺にスマートごみ箱を移設し、実験を継続予定



上段：ごみ箱設置場所  
中段左：屋外設置のごみ箱  
中段右：屋内設置の啓発サイネージ付きごみ箱  
下段：回収したごみ

# 【報告(2)】令和6年度観光戦略本部「近鉄奈良駅・新大宮駅・JR奈良駅周辺エリア部会」の概要

## エリアの現状

- ✓ 奈良県を代表する観光地として、世界遺産や優れた自然景観が集まるエリアでインバウンド旅行者・修学旅行生をはじめとした観光客が多く来訪。
- ✓ 滞在時間が短く、宿泊客数の増加や観光消費額の増大が課題であり、近年、交通渋滞やゴミ問題が顕在化。

### 課題及び主な意見

### 令和7年度の主な施策

#### 1. プロモーション・情報発信

- OTAサイトを活用した広報キャンペーンはしっかりと進めるべき、エクスペディアは特に日本に着目している。
- 消費額を増やす方法として、OTAを活用した「アクセス人数」の引き上げが有効。
- 飲食店の情報を発信する際は、ターゲット層を意識して、情報をカテゴライズして届けるべき(ハイエンド層を対象としたレベルの高いバーのマップ等)。

- ◆ 地域ごとの観光データ分析に基づく**重点ターゲットの明確化**とターゲットに訴求できる**旅行エージェントやメディアへのプロモーション**[旅行エージェント等へのセールス・商談会への参加・ファミトリップ実施など]
- ◆ **OTAとの連携**[連携協定を締結したエクスペディア・トリップアドバイザー等と連携した予約販売サイト等でのプロモーションなど]
- ◆ **鉄道事業者との連携**[連携協定を締結したJR東海・JR西日本・近鉄等と連携したプロモーション、企画乗車券・周遊パスの造成促進など]

#### 2. 観光コンテンツ・販路構築

- 音楽に関して洗練された地域になりつつある奈良では、**音楽をからめたパッケージや仕掛け**などをつくっていくのも面白い。
- 消費額を増やす方法として、**ナイトミュージアム等のナイトコンテンツの拡充**による「**転換率※**」の引き上げが有効(※アクセスから実際の旅行・宿泊につながった率)。

- ◆ **博物館・美術館の夜間開館(ナイトミュージアム)の拡大**とともに、**音楽やバー等を組み入れたコンテンツの造成**[金曜・土曜の開館延長や夜間の体験企画、ならまち・きたまちといった周辺地域の店舗等と連携した音楽・飲食に係る有料コンテンツの造成など]

## 【報告(2)】令和6年度観光戦略本部「近鉄奈良駅・新大宮駅・JR奈良駅周辺エリア部会」の概要

| 課題及び主な意見  | 令和7年度の主な施策  |
|---|---|
| <p><b>3. 宿泊・飲食・お土産</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>➤ <b>ホテル滞在自体が旅の目的</b>となるような魅力的で特色のある宿泊施設が増えていくと、泊まって観光する場所として選ばれるようになっていくのでは。</li><li>➤ 今後、<b>宿泊施設を増やしていく上で、ボトルネックは人的資源</b>。優秀な人材を確保しつつけるために、人材に着目した支援があっても良いのでは。</li></ul>              | <ul style="list-style-type: none"><li>◆ <b>宿泊施設の誘致・増改築等に対する支援</b> [新規開業・増改築への補助金や制度融資、首都圏等での誘致セミナーの開催、DX推進の支援など]</li><li>◆ <b>宿泊施設との連携によるコンテンツ造成</b>や活用 [宿泊者が体験できる既存コンテンツのPRやブラッシュアップ・旅行商品の造成、新規コンテンツの造成など]</li></ul> |
| <p><b>4. 受入環境整備</b><br/>(交通手段、Wi-Fi環境、キャッシュレス決済、多言語対応等)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>➤ インバウンドに付加価値の高い体験をしてもらうのに奈良公園バスターミナルは適切な場所。<b>酒や茶を楽しめる空間が奈良公園バスターミナルにできれば、非常に価値がある。</b></li><li>➤ 議論の余地はあるが、まずは<b>奈良公園にゴミ箱の設置を検討すべきか</b>と思う。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 奈良公園<b>バスターミナルの更なる利活用</b> [バスターミナル内に奈良の地酒や茶を楽しめる空間や観光情報を提供できる施設の整備など]</li><li>◆ <b>奈良公園周辺でのごみ対策</b>の推進 [R6年度実証実験(観光庁補助事業)を踏まえた対策など]</li></ul>                                 |

(1) **国立博物館と連携したナイトコンテンツの造成**

奈良国立博物館(仏像館)の夜間開館

→ 奈良ファンへの高付加価値体験



奈良国立博物館 仏像館 内部

(2) 奈良の**ナイトタイムをPRする動画制作**

①OTA(Expedia)と連携し「奈良の夜ブランディング」ターゲティング広告動画を展開

→ 奈良の夜のイメージ定着。奈良=DEER PARKのイメージ脱却。

②「奈良の夜の飲食店紹介動画」「奈良のナイトタイムの過ごし方動画」を、サイネージやSNS等の県の有する広報媒体で展開。

→ 埋もれてしまっているコンテンツの発掘。具体的な選択肢の提案。

奈良市の「奈良ナイトマップ」・地元事業者と連携。既存コンテンツの発信力増強。

(3) **バスターミナル2階の再整備**と、整備後の店舗と連携した取組

○バスターミナル2階に酒の販売、飲用が可能な店舗を設置。

○“夜に楽しめるバスターミナル”となるよう、店舗と連携して、バスターミナル内での「夜の催し」を実施。



奈良公園バスターミナル2階(現状)